

ハママツスポーツフェス in 浜松アリーナ 開催報告

2019.10.24

- 1.日時 2019年10月22日（火）13時～16時00分
- 2.会場 浜松アリーナ、メインアリーナ・サブアリーナ
- 3.主催 オリパラ教育浜松市内大学連携協議会
- 4.協力 浜松市教育委員会、浜松市(スポーツ振興課、シティプロモーション課)
浜松市体育協会、日伯交流協会
- 5.後援 静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、静岡朝日テレビ、
静岡第一テレビ、テレビ静岡、K・MIX

6.当日タイムテーブル

[メインアリーナ・サブアリーナ]

13:00～13:40 開会式・アスリートによるトークショー

- ① バレーボール 斎藤信治氏、狩野舞子氏
- ② 野球 中村紀洋氏
- ③ サッカー 松原良香氏
- ④ ボッチャ 杉村英孝氏
- ⑤ 陸上 伊東浩二氏

14:00～14:45 競技体験①

14:55～15:40 競技体験②

15:45～16:00 写真撮影・閉会式

[2Fエントランス]

13:00～16:00 オリンピック・パラリンピック紹介コーナー

田畠政治氏、古橋廣之進氏 ほか（シティプロモーション課）

ブラジルの言葉を学ぶ、ブラジルの国旗を作ろう（常葉大学）

ブラジル PR コーナー （スポーツ振興課提供）

※体験種目は、申込時に3つまで選択してもらい、事務局にて調整のうえ、2種目を指定する（定員200名）。

7.参加人数 競技体験者 276名(申込 311名)、観覧者 275名(保護者含む)
計 551名

8.競技体験申込状況(振分)

	競技体験①	競技体験②
バレー ボール	60	58
陸上	74	75
サッカー	70	69
野球	60	57
ボッチャ	47	52
合計	311	311

9.学生スタッフ 61名(常葉大学 51名、聖隸クリ大 7名、浜松医大 3名)

10.結果

本事業は、浜松市内の4大学(常葉大学、浜松学院大学、浜松医科大学、聖隸クリストファー大学)が浜松市の委託を受けて実施するもので、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、スポーツに興味関心を持ってもらおうと企画した。これまで、オリンピック・パラリンピックに出場したことのある、野球、サッカー、バレー ボール、陸上、ボッチャの6選手が浜松に集まり、トークショーと競技体験を実施した。競技体験は、受付開始が1週間で定員を超え、関心の高さを伺うことができた。オリンピアン・パラリンピアンから直接指導を受けられ貴重な機会に、市内の小中学生約300名がスポーツを楽しんだ。

また、2階の会場では、浜松にゆかりのある1964東京オリンピックで活躍した方々を紹介するコーナーや、浜松市はブラジルホストタウンであるため、ブラジル文化や歴史、言葉を学ぶコーナー、応援グッズ作成コーナーを設置し、イベントを盛り上げた。

11.報道

- (1)新聞社 静岡新聞、中日新聞、朝日新聞
(2)テレビ局 テレビ静岡、静岡朝日テレビ

以上

実施風景



トークショー



バレーボール



サッカー



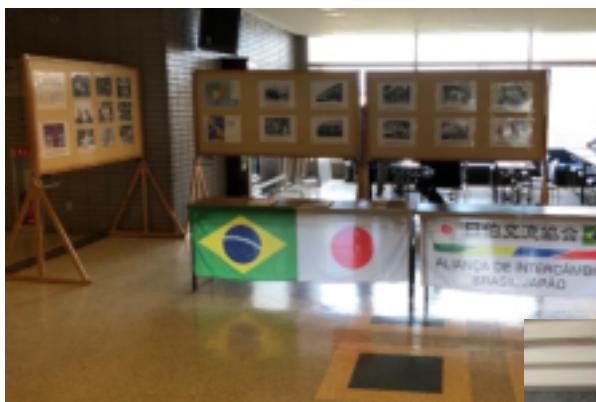
野球



陸上



ボッチャ



ブラジル応援コーナー



展示コーナー



